

教育目標(めざす児童生徒像)	今年度の指導の重点
学校教育目標 自ら学び、生き生きと表現する 心豊かな子どもを育てる めざす子ども像 思いやりのある子 進んで学び合う子 思いを伝え合う子	人と人とのつながりを育てながら ・学力の充実...基礎基本、聞く・考える・伝え合う ・生活の充実...あいさつ・きまり・そうじ ・人権教育の充実...一人ひとりが大切にされる仲間づくり ・特別支援教育の充実...個のニーズに応じた支援 ・家庭・地域との連携の充実

調査結果について(調査結果において明らかになったこと)	
【学力状況調査の結果】 全国 国語Aにおいては、18問中5問で県平均を上回っている。特に、漢字の読みは全県平均を上回っている。 算数Aにおいては、19問中15問で県平均を上回っている。なかでも、8問はとても高い。また、全領域(「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」)で県平均を上回っている。 国語Bにおいては、選択式や短答式の問題よりも、記述式の問題の正答率が県平均より近い。 算数Bにおいては、「数量や図形についての技能」で、県平均と全国平均ともに上回っている。 国語Bにおいては、10問中1問だけが県平均を上回っているだけで、その他の項目はすべて県平均を下回っている。 算数Bにおいては、13問中2問だけが県平均を上回っているだけで、その他の項目は県平均を下回っている。 領域でいえば、国語において「読むこと」はA問題ではよいが、B問題では低い結果が出ている。 県 国語:「漢字の読み」、「漢字の書き」ともに県平均正答率と比較高い結果が出ている。「文法・語句に関する知識」は同程度の結果が出ている。 社会:「日本の国土」と「市民の願いと政治」で県平均正答率より上回っている。 数学:「反比例」、「平均・単位量当たりの大きさ」で高い結果が出ている。「立方体」では同程度の結果が出ている。 理科:「太陽と地面の様子」、「人の体のつくりと働き」でかなり高い結果が出ている。 国語:「パンフレットの作成」、「物語の朗読」では、県平均を下回っている。 社会:「学校の周りの様子」、「日本の水産業」、「情報と国民生活」、「貴族-武士による政治」で県平均を下回っている。 数学:「小数や分数の計算」、「四則混合の計算」、「正三角形・円、対称な図形」、「三角形・台形の面積」、「資料の分類整理」、「百分率」が低い。 理科:「水溶液の性質」、「電気の利用」、「顕微鏡の使い方」、「振り子の運動」で県平均を下回っている。	【学習状況調査の結果】 全国 1日の平均読書時間で非常に良い結果が出ている(2時間以上読む児童の割合も高いし、全くしない児童の割合が低い)。住んでいる地域の行事に参加の項目で県や全国平均を大きく上回っている。 学校の宿題をきちんとしている児童が県・全国平均を上回っている。 自分にはよいところがある、自分の行動や発言に自信を持っている等の項目で低い結果が出ている。自尊感情が大変悪い。テレビゲームの実施時間は全くしない児童も多く1時間より少ない児童も多い反面、テレビやDVD等の視聴時間が非常に長い児童が多い。学校のきまりや友だちとの約束を守らない、友だちへの理解や思いやりに欠ける児童の割合が県や全国の平均に比べ高い。 県 <県平均と比べて良好だったもの> 17)ふだん(月曜日から金曜日)、1日あたりどれくらいの時間テレビゲームをするか 18)学校の授業以外でふだん1日あたりどれくらいの時間勉強しているか 22)家で勉強していてわからないことがあったらどうするか 23)学習塾に通っているか 32)携帯電話の使い方について家の人と約束している 59)国語の解答時間は十分 60)社会の解答時間は十分 61)数学の解答時間は十分 <県平均と比べて課題がみられたもの> 2)自分にはよいところがあると思う 11)場面や相手に応じた言葉づかいで話すようにしている 15)学校の行事や授業以外で自然の中で活動したり、年齢の異なる人と交流したりする

成果と課題
学校以外の学習時間で良い結果が出ている。それは、家庭学習の手引きを年度当初に発行したり、毎月1回1週間、家庭学習をチェックするうさかめカードを実施したりしている成果と考えられる。提出率の目標100%を呼びかけてきたこともポイントが上がった要因と考えられる。 テレビゲームの時間が昨年度より、少なくなっている。調査した児童・集団が異なるのももしかしたら、ゲームを好む児童が少なかったのかもしれない。その分、読書をする、図書室へ行くの項目での+の結果が出ている。 県学テにおいては、理科のみが県平均を下回ったが、国語と社会、算数では勉強が好きという結果が出た。学習に対する意欲や興味・関心はあると考えられるので、それが結果に表れるようにしなければならない。 全国学テ算数Aにおいて、大変良い結果が出たのは、朝自習算数すいすいタイムの取り組みの成果と考えられる。自分にはよいところがあるという項目で大変低い数値が出ている。自尊感情が低い児童が多い。 場面や相手に応じた言葉づかいで話すことができにくい児童の割合が高い。言葉づかいや挨拶については、平日頃より指導しているが、今後も引き続き継続的に指導していく必要がある。

課題に対応した改善方法
今年度も、うさかめカードの提出率100%をめざし、保護者への呼びかけを積極的に行い、家庭学習をしっかりと行うことができるようにする。そして、基礎・基本の定着を図るようにする。 うさかめカードのなかでノーマディアデーを設けるなどして、テレビ・DVD等の視聴時間やゲーム等の時間が減少するようにする。 漢字の定着を図るために、新たに全校で漢字練習や漢字テストに取り組む。 低学年での親子読書、読書ボランティアによる読み聞かせ、図書館教育の充実等により、本好きな子を増やし、読書量が増えるようにする。 自尊感情を高めるために、いろいろな場面で子どもたちのがんばりや努力の過程を見つけ、しっかり褒めることをする。また、子どもたちが学級や学年、児童会活動等で活躍する場を設定し、自信を持たせるようにする。 自分たちから挨拶する、名前を呼ばれたら返事をする、言葉遣いに気を付ける、職員室への入り方等、そのときどきに応じた話し方ができるように指導していく。 全国学テのB問題に対応する取り組みとして、思考力・表現力を高めるために、自分の考えを持ったり、分かりやすく表現したりする活動などを取り入れた授業改善に取り組んでいく。

取組の検証方法及び検証時期
朝学習、算数すいすいタイムと国語わくわくタイムの継続的実施。 岡山県学習到達度確認テストの実施(すいすいタイムやわくわくタイムの問題に組み込む)。 うさかめカードの実施(月1回)。 6年生においては県学テ、5年生においては全国学テの過去問や同一問・類似問に取り組む(3学期)。 既習漢字が定着するように、第1,3週の月・水曜日の朝学習で漢字プリントを行い、金曜日にミニテストを行う。

達成目標(数値目標)
3学期に行う算数すいすいタイムのテストと国語わくわくタイムのテストで、平均点が80点以上になるようにする。 各単元のテストで、平均点が80点以上になるようにする。 うさかめカードの提出率が100%になるようにする。 漢字のミニテストで90点以上、学期末の漢字50問テストで、平均点が70点以上になるようにする。